

第248回

荒川の人

肩の力を抜いて、もっと気軽に楽しもう。

国内外から注目されるジャズギターの新星。

あさば ひろふみ
ジャズギタリスト **浅葉 裕文**さん

【プロフィール】1986年生まれ。埼玉県川越市出身。大学在学中から世界各地をギターと共に旅し、音楽に触れながらセッションを重ねる。浅草のジャズバー「ソウルトレイン」にて日本を代表するジャズギタリスト岡安芳明氏に出会い、師事。2015年3月、岡安氏プロデュースによるデビューアルバムをリリース。2017年1月、台湾公演にて大成功を収めるほか、国内外で注目を集める。ACC（公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団）アーティストバンク登録。ホームページ <http://hiroasaba.com/>



ジャズと聞くと、なんだか難しそうという先入観はありませんか。アメリカ・ニューオーリンズで誕生したジャズは、時代や地域によってさまざまに発展し、ニューヨークの夜の街をイメージするモダンなものや、青空広がるアメリカ西海岸を思わせる、爽快なウェストコースト・ジャズと呼ばれるものなどがあります。荒川区に住み、今最も勢いのある若手として注目されるジャズギタリスト浅葉裕文さんが目指すのは、底抜けに明るいウェストコースト・ジャズだと言います。

バーニー・ケッセルとの出会いが運命を変えた

「ギターと出会ったのは中学2年の頃。友達から譲ってもらった安いエレキギターをみよう見まねで弾き始めたのが最初かな。高校では軽音楽部で、レンタルCDでパンク、ロック、レゲエ、いろいろな音楽を聴くようになりました。ギターは好きで弾いていましたが趣味の範囲で、大学は外国語学部へ進学。その後、休学してオーストラリアにワーキングホリデーで滞在し、1年後に大学に復帰。そのとき、ジャズサークルの先輩に借りたCDの1枚がバーニー・ケッセルだったんです。初めて聴いて、とても耳なじみが良くて聴きやすいんですが、ものすごい(上手い)ギターを弾いている。すごい!と衝撃を受け、こんな風に弾きたいと憧れるようになりました」

どこにでもいそうな音楽好きの青年の運命を変えた



浅葉さんのデビューアルバム『EASY LIKE (イージー・ライク)』(2015年)

バーニー・ケッセル(1923年-2004年)は、1945年からロサンゼルスで活躍した、ジャズの歴史に残る偉大なギタリスト。浅葉さんは再び、ギターを手にジャズの聖地ニューオーリンズや東南アジアなどを回り、

街角のセッションなどに加わって、ついにジャズギタリストを目指そうと思いたちます。そして帰国後に勤めたのが浅草にある老舗のジャズバー・ソウルトレイン。そこにはまた、素晴らしい出会いが待っていました。

世界を広げてくれた 師匠とギブソンES-350

「僕の師匠は、日本を代表するジャズギタリストの岡安芳明さん。ソウルトレインに月1回出演していたご縁で弟子にしてもらったんですが、最初のレッスンで『君が弾いているのは全部間違っている』と言われました。ちょっと弾けるくらいじゃプロとしては通用しないと、イチから教えてもらうことになりました。そのとき、バーニー・ケッセルが好きだと言ったら『いいね!』と言ってきて、バーニーの演奏からも勉強するようにすすめられました」

お店の営業は夜からですが、浅葉さんは朝9時頃から行って、店にあるレコードやCDを聞いて学び、ギターの練習を日課にしていたそうです。通常ジャズギタリストのデビューは弟子入りして10数年と言われるなか、めきめきと腕を上げて認められ、なんと4年目にしてデビューアルバムを出すことになりました。

「僕のオリジナル曲のほか、大好きなバーニー・ケッセルのファーストアルバム『Easy Like』を2曲目に入れて、アルバム名にしました。イージー・ライクって、肩肘はらず、気楽に行こうよという意味で、明るいウェスト・コーストジャズを気軽に楽しんでもらえるアルバムになったと思います」

アルバムで浅葉さんが手にしているのがギブソンES-350というエレキギター。1950年製造のヴィンテージで、バーニーが同じ型のギターを使っていたので欲しくて探しまわり、アメリカで見つかったけれど状態が分からずあきらめたもの。それをなんと渋谷の楽器店で偶然見つけ、その場で弾いて即決で手に入れたそうです。一見アコースティックにも見えるギブソンES-350、とても良い音がして、浅葉さんの音楽になくてはならない相棒

なのです。

楽しくてつい身体が動く ジャズの魅力をもっと広めたい

アルバム発売をきっかけにジャズ雑誌で紹介され、ジャズフェスやラジオ番組への出演も増えた浅葉さん。バーニー・ケッセルのツアーマネージメントをしていた人がオーストラリアで発行しているジャズ雑誌で浅葉さんのアルバムを取り上げて表紙になったり、台湾で公演したりと、30歳にして海外からも注目される存在です。

ジャズギタリストとして一本立ちし、住居を荒川に変えて1年余り。緑豊かで人情厚い荒川区はとても住みやすいと言います。お気に入りじゃぶじゃぶ池や枝垂れ桜のある尾久の原公園、のんびり買物ができる地元はっぴいもーる熊野前商店街。昨年末から今年始めにかけて、はっぴいもーるにある蕎麦屋・もりやまや銭湯の尾久ゆ〜ランド熊の前でミニライブも行ったそうです。

「僕が目指しているのは明るく親しみやすいジャズ。CDも良いですが、時間があれば生の演奏を聴くのをおすすめします。その瞬間にしか生まれないライブの音、メンバーとの掛け合いやアドリブ。ジャズの醍醐味をもっと気軽に楽しんでほしいと思います」

お声がかかれば地元でのミニライブもぜひ行いたいという浅葉さん。演奏スケジュールのほか、ジャズギターのレッスンも行っているのも興味のある方はホームページをチェックしてみてください。

楽しく弾こうジャズギターレッスン 生徒募集中

初心者の方も本格的なジャズギターを弾いてみたい人も、どなたでも歓迎!貸しスタジオまたはご自宅への出張レッスン、遠距離の方にはSkype(スカイプ)での指導も可能です。内容・費用などは個別にご相談。

●お申し込み・お問い合わせは浅葉さんのホームページ <http://hiroasaba.com/>からどうぞ。

ほっとタウン 掲載広告募集!

ACC 公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団情報誌に広告を掲載しませんか? 毎月1日発行(76,500部)。荒川区全域に新聞折込及び駅広報スタンド、荒川区施設窓口等に設置しています。

【大広告】全頁フルカラー印刷			
タイプ	サイズ	広告料【2面~7面】	広告料【8面】
A	タテ88mm×ヨコ 63mm	35,000円	40,000円
B	タテ88mm×ヨコ127mm	70,000円	80,000円
C	タテ88mm×ヨコ254mm	140,000円	160,000円
D	タテ43mm×ヨコ127mm	35,000円	掲載不可

↓お得な広告枠ができました。お気軽にご連絡ください。↓

E	タテ50mm×ヨコ 63mm	15,000円	掲載不可
---	----------------	---------	------

版下作成サービス(無料)/連続掲載割引制度あり

お問い合わせ・広告掲載申込 ACC文化事業係 ☎3802-7111

木曾路 7月12(水)まで開催中!!

北の幸まつり

北海たこ薄造り
たらば蟹天婦羅
帆立バター焼き
毛がに姿盛り

黒豚しゃぶしゃぶ

7月12(水)まで

本曾路こだわりの安全出汁でいただく鹿児島産黒豚しゃぶしゃぶ
先付、黒豚しゃぶしゃぶ(肉・野菜盛)中華麺、御飯、香の物、デザート
3,500円(税込3,780円)

ご宴会ご予約承り中!
※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

木曾路南千住店
荒川区南千住 5-6-15
電話: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 2,160円以上の料理をご注文に限ります。
- グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- H29年6月30日まで有効
- 本曾路南千住店のみ有効